

## WHO のいい加減さ？ 今更何を言っている。

WHO や国連機関職員の高給取り・オフィスの豪華さ（青山の国連大学に行ってみろ）は、外務省が良く知っていることだ。

見て見ぬふりをしなければ、外務省からこういう組織への一握りの天下り先を失う。僅かの天下り先欲しさに、WHO や国連に言いたいことも言えないのが外務省である。私はね！ 外務省・厚労省のいい加減さに関しては省内の誰よりも詳しいよ。

例の、裏金問題の松尾室長の課長補佐小林は、外務省をクビになり私が拾ったのだ。当時の斉木課長から「小林は本当に良い人間だ。よろしくお願いします」と、直筆の手紙を貰っているよ。海外公館外交官の売国奴振りは、小林の本の題名「国民の皆さんごめんなさい」の通りだ。WHO の尾身さんがマニラにいたころ、日本 WHO 協会で横領事件や様々な不祥事が起きた。それを糺す倫理委員長は私が努めた。専務理事は懲役刑になった。もっとも責任が重い厚労省の元係長は、現在課長だそうだ。当時安倍官房長官が国会で釈明の答弁をした。

国際機関の不祥事は日常茶飯事で、海外の事業を何も知らない国民は「慈善事業」の美名に胡麻化されているのだ。外務省は、海外で起きている不条理を、国民の目から隠す事が仕事だと思っている。国会議員もそれを知っていながら、知らぬふりをしている。

日本の国際協力事業の代表、JICA の腐敗ぶりは酷いものだ。例年 2 月、3 月には JICA を退職した人物の挨拶状が 4～5 通は届く。「縁あって●●コンサルタント社で第 2 の人生を送ることになった」と書いてある。こんなコンサルが JICA の周囲にはたくさんいる。大半が JICA からの仕事だ。これは賄賂、不正では無いのか？ 当然在職中から話を進めていたはずだ。こんな見え透いたことを、私ごときに指摘させる国会議員、マスコミは何をしているのか。参議院に参考人として呼ばれたとき、スキー選手あがりの女性議員は私の登壇中、居眠りをしてた。失礼だろう！ 自分を何様だと思っているのだろうか。

JICA と取引しているコンサルや ODA 企業に何名天下っているか、無能議員でもそれくらいは調べてみたらどうか。「天下ります」と、臆面もなく印刷した葉書を出すほど、JICA・外務省は倫理にマヒしているのだ。

コロナウィルスで社会は暗く沈んでいる。今こそ公務員が身を削る努力をして、国民に希望を与える時だ。安倍内閣も「役に立たない」「仕事が出来ない」公務員を処分すべきだ。厚労省・文科省から処分者が出ないのはなぜだ？

太平洋戦争以来苦勞を重ねて、日本を創りあげた先祖は墓の下で嘆いているぞ。

令和 2 年 4 月 22 日

小田 兼利